

平成30年度 医工連携フォーラム・マッチング会(10月25日)公開ニーズ集

No.	所属機関	診療科名	職種	ニーズ名称	ニーズ内容
1	飯塚病院	リハビリテーション部	理学療法士	抜けない・外れない気管カニューレ	人工呼吸器を使用したままりハビリを行うことがあるが、動きにより、カニューレが抜けてしまう危険性がある。
2	飯塚病院	リハビリテーション部	理学療法士	ベッドサイドでの靴収納	ベッド周りの靴で転倒のリスクがあったり、靴がベッドの下に入り込んだりと不便。
3	飯塚病院	リハビリテーション部	理学療法士	洋式トイレで一人で坐位保持ができるデバイス	トイレは一人で利用したいものだが、患者によっては、坐位保持が困難で常時付き添いが必要な方もおられる。
4	飯塚病院	リハビリテーション部	理学療法士	介護・訓練時に介助しやすいウエア	介護・訓練時に体の向きを変えたり、保持したりする必要はあるが、病衣だと安定しないし不便。
5	飯塚病院	リハビリテーション部	理学療法士	荷重の左右差が簡便に分かるデバイス	片足にかける体重の割合などを決定し、訓練して行くことがあるが、割合が分かりにくい。
6	飯塚病院	小児科	医師	食品アレルギー用検査キット 減感作療法用食品	検査項目は細分化されている。 食品の負荷試験などでは、材料を自分たちで準備する必要がある。
7	飯塚病院	臨床工学部	臨床工学技士	気管チューブの結露防止	特に新生児、小児では人工呼吸器管理を行う際、呼吸器回路に結露が生じることがある。結露が気道内に流れ込むなどといったリスクがあり、管理に難渋することが多々ある。
8	飯塚病院	臨床工学部	臨床工学技士	電源コードの清拭・清掃デバイス	メンテナンス部門では、輸液ポンプやシリンジポンプに付属する電源ケーブルを、一本一本消毒液をつけた布や市販の清拭クロスを使用し、拭きあげている。毎日大量の電源ケーブルの清拭のため、時間と労力を割く必要がある。
9	飯塚病院	臨床工学部	臨床工学技士	放射線遮蔽カーテン	内視鏡検査・治療やカテーテル検査・治療において放射線を利用するが、患者や術者を保護するため、放射線発生装置や処置台の下に、放射線遮蔽カーテンを設置しているが、重量があり、時には処置や検査の妨げになることもある。
10	飯塚病院	臨床工学部	臨床工学技士	自己抜管を防止するデバイス	不穏症状などにより、点滴や気管チューブなどを患者自身が抜去してしまうことがある。
11	福岡県済生会 飯塚嘉穂病院	イノベーション推進グループ	事務	病床管理を簡素化できるソフトウェア	病床管理を人の手を使って調整しているため、ベッドの空き状況や患者の入院日数によって適宜調整する必要があり、手間がかかる。
12	福岡県済生会 飯塚嘉穂病院	イノベーション推進グループ	事務	片手で使用できるトイレ周辺設備	片手では使用不可能な設備を使用可能にする後付の装置
13	福岡県済生会 飯塚嘉穂病院	イノベーション推進グループ	事務	小型酸素濃縮器	ポンベの持ち運びに片手がふさがってしまう。また、酸素が減るとポンベを取り替えないといけないことが不便。遠出ができない。

No.	所属機関	診療科名	職種	ニーズ名称	ニーズ内容
14	福岡県済生会 飯塚嘉穂病院	放射線部	診療放射線技師	多入力液晶ディスプレイ (天井吊orコードレス)	OPE寝台周りはたくさんの機器があり、ディスプレイの配置に困っている。
15	福岡県済生会 飯塚嘉穂病院	放射線部	診療放射線技師	点柱付(不要時収納)車椅子	車椅子と点柱を両方運転するのは困難
16	福岡県済生会 飯塚嘉穂病院	イノベーション推進グループ リハビリテーション部	理学療法士	心電図モニター(受信機)の改良	重度の方の歩行練習時などの時にモニターが見られないと、リスク管理が実施できない時があつて困っている。
17	福岡県済生会 飯塚嘉穂病院	イノベーション推進グループ リハビリテーション部	理学療法士	心電図モニター(受信機)の改良	重症の方では点滴などのルートがたくさん入っており、有線ではリハビリ時に邪魔になる場合もあり、患者様も邪魔だと困っている。
18	福岡県済生会 飯塚嘉穂病院	イノベーション推進グループ リハビリテーション部	理学療法士	心電図モニター(受信機)の改良	メイン機では不整脈が出現した場合にアラームで警告してくれるが、受信機にはアラーム機能がないため困っている。
19	福岡県済生会 飯塚嘉穂病院	イノベーション推進グループ リハビリテーション部	理学療法士	酸素ボンベの容量	患者様に細かく酸素ボンベ容量、時間を把握してもらいに困っている。
20	福岡県済生会 飯塚嘉穂病院	イノベーション推進グループ リハビリテーション部	理学療法士	VR運転練習	実車練習までの運転評価、及び運転練習としてのリハビリ機器が必要と感じている。
21	飯塚市立病院	リハビリテーション科	言語聴覚士	食材の形態はそのままだが、口に入れると弱い力でも程よくほどける食材	食べる能力はある程度残されているが、「ミキサー食」の見た目では食欲がなくなり、食べなくなることがある。
22	飯塚市立病院	リハビリテーション科	理学療法士	荷重練習が容易な体重計	荷重制限があり、認知症などを有する患者様に簡単に設定荷重量を可視化できないか？視覚的、聴覚的に知らせる？超薄の体重計。
23	飯塚市立病院	リハビリテーション科	言語聴覚士	一口量の調整が出来るスプーン	嚥下障害の患者様は、一口量が多くなることがあり、患者様が自己摂取しても、量が多い場合に知らせてくれる。
24	飯塚市立病院	リハビリテーション科	理学療法士	ダイヤル式コルセット	圧迫骨折の患者様はコルセットの装着感をマジックテープで調整を行っているが、調整が難しいことがある。